

第3回入江泰吉記念写真賞 企画概要

入江泰吉記念写真賞は、奈良大和路を約半世紀にわたって撮り続け、その文化的・歴史的景観を心象風景としてとらえ続けてきた写真家・入江泰吉の文化・芸術への功績を記念し、写真文化の発信と、新たな写真家の発掘を目的としています。

本賞では、自らの意識を超え「伝える」こと、歴史、文化、地域性へのこだわりが21世紀の重要なキーワードと考え、私たちの心に深く記憶される普遍的な生の眼差しを持った写真の作り手を支援していくため、未来そして世界に向けてのメッセージとして「写真集」を製作します。

入江泰吉

1905年奈良市に生まれ、1926年写真家を志し大阪に移る。1945年大阪大空襲で焼け出されふるさと奈良に引き揚げた。東大寺三月堂（法華堂）の四天王像が疎開先から帰ってきたのを見てアメリカに接収されると思い、「せめて写真に残そう、よし奈良を撮ろう」と心に決めた。東大寺のお水取りも20年以上撮影を続けた。1958年小林秀雄、白洲正子が入江の写真を見て「これはすぐに出しなさい」と東京創元社から『大和路』が出版された。入江が53歳で初めて出版した写真集だった。入江はこの写真集の出版によって生涯大和路を撮ろうと覚悟を決めた。

—概要—

- 主 催 入江泰吉記念写真賞実行委員会
- 共 催 奈良市・一般財団法人奈良市総合財団・入江泰吉記念奈良市写真美術館
- 特別協力 日本経済新聞社
- 実行委員会 会 長 飯沢 耕太郎（写真評論家）
副会長 山本 あつし（ならそら代表／クリエイティブ・インテュチャー）
委 員 矢野 建彦（写真家／日本写真家協会会員）
委 員 吉川 直哉（写真家／大阪芸術大学写真学科客員教授）
委 員 中野 聖子（（株）ホテルサンルート奈良代表取締役社長）
委 員 大西 洋（（株）CASE 代表取締役）
- 事務局 事務局長 百々 俊二（入江泰吉記念奈良市写真美術館館長）
事務局次長 谷田 建次（奈良市市民活動部文化振興課長）

第3回入江泰吉記念写真賞 募集要項

- テーマ 自由
- 賞の内容 入江泰吉記念写真賞 1名
 - ・写真集の出版（1000部製作、内100部を受賞者に贈呈）
 - ・入江泰吉記念奈良市写真美術館にて展覧会を開催
 - ・写真集および展覧会の準備金として30万円を贈与
- 応募資格 プロ・アマチュア、年齢、職業、国籍（日本在住の方のみ）を問いません。
- 応募規定
 - ・テーマ、ジャンル、技法は問いません。
 - ・既発表作品も応募できますが、同時期同作品の他の公募展への二重応募は認めません。
 - ・作品サイズ：六ツ切～半切
(20.3cm×25.4cm 以上 35.6cm×43.2cm 以下)
 - ・作品点数：100点以下
 - ・作品は、ストレージボックスなどの箱に収納して応募してください。作品の額装、パネル貼り、プリントのマッチング、ファイルでの応募はできません。
- 募集期間 平成30（2018）年6月1日（金）～7月31日（火）
午後4時30分必着
- 広 報
 - ・募集ポスター・チラシの配布
 - ・ホームページで告知
 - ・『奈良しみんだより』で告知
 - ・奈良市政記者クラブに情報提供 等

- 選考方法 審査員の協議により選出します。
- 選考結果 選考結果は、本人へ書面にて通知いたします。
また、結果の公表は、奈良市政記者クラブにて行います。
- 授賞式
 - ・会場 入江泰吉記念奈良市写真美術館内
 - ・出席者 協賛、協力、後援各社団体
- 展覧会
 - ・会場 入江泰吉記念奈良市写真美術館
 - ・会期 平成31年2月23日(土)～4月7日(日)38日間
- 審査委員
 - (順不同)
 - (予定)
 - ・三好和義(みよし・かずよし)
1958年生まれ。写真家。東京都在住。
1975年、沖縄で撮影した「牛」で二科展に入選。翌年17歳で銀座ニコンサロンで個展を開催。1985年に初の写真集『RAKUEN』を出版。1986年、写真集『RAKUEN』などにより第11回木村伊兵衛賞を受賞。
2014年、ニッコールクラブ顧問就任。
 - ・有元伸也(ありもと・しんや)
1971年生まれ。写真家。東京都在住。
ビジュアルアーツ専門学校大阪卒業。1994年より現在にいたるまで個展・グループ展を精力的に開催。また5年にわたるチベットでの制作活動を経て1999年に『西藏より肖像』を出版。同作により第35回太陽賞受賞。
 - ・黒阪幸伸(くろさか・ゆきのぶ)
日本経済新聞社大阪本社写真部長。
 - ・飯沢耕太郎(いざわ・こうたろう)
1954年生まれ。写真評論家。東京都在住。
写真評論家として多数の著書を出版。1996年には『写真美術館へようこそ』でサントリー学芸賞を受賞。また、公募展「写真新世紀」や「ひとつぼ展」で設立当初から審査員を務める。荒木経惟の研究者としても知られる。

・百々俊二（どど・しゅんじ）

1947年生まれ。写真家。奈良県在住。

1970年より東京写真専門学校、大阪写真専門学校（現ビジュアルアーツ専門学校大阪）教員。1998～2015年まで同校学校長を務める。1996年、『楽土紀伊半島』で日本写真協会年度賞、2011年『大阪』で第27回東川賞などを受賞。2015年、入江泰吉記念奈良市写真美術館館長に就任。

・○○○○(女性) 調整中

・○○○○(女性) 調整中

第2回「なら PHOTO CONTEST」企画概要及び要項

「入江泰吉記念写真賞」に併せて「なら PHOTO CONTEST」を開催いたします。これは、プロ・アマを問わず写真熟練度のかなり高いカメラマンによる、全国的なレベルでの「入江泰吉記念写真賞」とは別に、広く老若男女による一般写真愛好家の皆が、奈良の四季をとおして魅力的な風景や行事、日常のシーンなどを感じたままに撮影していただき、気軽にご応募いただけるフォトコンテストとして位置づけるものです。

【カテゴリー1】

- テーマ 大和は国のまほろば
奈良の風景、行事や日常のシーンなど奈良があなたに与えた感動を表現
- 表彰 やまと賞 1名<賞状・賞金10万円・記念品等>
日本経済新聞社賞 1名<賞状・記念品等>
入選 若干名<賞状・記念品等>
- 選考方法 審査員の協議により選出します。
- 選考結果 選考結果は、本人へ書面にて通知いたします。
また、結果の公表は、奈良市政記者クラブにて行います。
- 審査委員
 - ・吉川直哉（よしかわ・なおや）写真家／大阪芸術大学客員教授
 - ・岩本知星（いわもと・ちせい）華道家／一般財団法人草月会理事
 - ・黒阪幸伸（くろさか・ゆきのぶ）日本経済新聞社大阪本社写真部長
 - ・飯沢耕太郎（いいざわ・こうたろう）写真評論家
 - ・百々俊二（どど・しゅんじ）写真家／入江泰吉記念奈良市写真美術館館長

【カテゴリー2】

- テーマ 奈良を舞台にした家族写真
- 表彰 1等賞 1名<賞状・記念品等>
入選 若干名<賞状・記念品等>
- 選考方法 投票制（展覧会会期中に来館者による投票を行います。）
- 選考結果 選考結果は、本人へ書面にて通知いたします。

